


# 『旅に出よう』 寸評

- ・ 軽快な出歩きたい気分させる曲想
- ・ 終始刻むVa.に軽やかなチェロ、伸びやかなVns.と見通しのよい役割配分
- ・ 楽器の特性をよく生かして作品に落とし込んである
- ・ pizz.ではじめarcoにきりかえるチェロ とても効果的
- ・ 和声の推移がしっかり手の内に入っている印象

完成度をさらに上げるために

- ・ m.4からVa.は重音で演奏するのでdiv.(分奏)指示は不要
- ・ m.6 b.4オモテ拍は借用和音ドッペルドミナント、根音省略形属九の第一転回形かつAbは準固有和音としてハ短調に由来
- ・ m.4 Vn.I 記譜  ←第3拍がみえるように
- ・ m10 b.4 Vn.IIのラはオクターヴ上でいいのでは
- ・ m.12 b.1 第3音のミをじゃまするのでファが鳴っているときはミを鳴らさない方がよい
- ・ m.11 b.3-4 長三和音の第一転回形ではとりわけバスと重複する第3音を上三声に含めない方がよい ここはm.12の属和音なのでなおさら
- ・ m.9 Vns.のスラーをm.6と同様にしたらどうだろう

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

内心の火を灯し続けよう!

持麿 勉